

いちのへ社協だより

ゆいっこ

2026
03.27 発行 Vol.123



- 08 TOPICS
- 07 社協からのお知らせ
- 06 民生委員・児童委員一斉改選
- 04 できごとフラッシュ
- 02 会費及び募金納入実績報告

題号"ゆいっこ"は、古くは若者たちによる共同農作業という素朴な集団の呼称として使われていましたが、この互助精神が福祉の精神そのものと思い、社会福祉協議会広報の題名にしました。

Topics

各種相談日程表

	無料法律相談 (事前申込要)	多重債務相談 (事前申込要)	ふれあい相談
4月	4/7(火)・4/22(水)	4/21(火)	月～金 (土日祝日は休み)
5月	5/12(火)・5/26(火)	5/19(火)	
6月	6/9(火)・6/23(火)	6/16(火)	
時 間	10:00～15:00		8:30～17:15
場 所	二戸消費生活センター (二戸合同庁舎内)		一戸町社会福祉協議会 (一戸町総合保健福祉センター内)
問合せ先	0195-23-5800		0195-33-3385

寄付御礼 (令和7年12月～令和8年2月取扱分)

社会福祉協議会への寄付

- ENEOSリニューアブル・エナジー株式会社 様
金 一封 也
- 奥中山読書会北の風 様
金 一封 也
- 一戸ヨーガ療法教室(チャリティーヨーガ) 様
金 26,200円 也

頂きましたご寄付は、災害時の運営や地域福祉事業の推進のため活用させていただきます。ありがとうございました。

災害義援金募集のお知らせ

社会福祉協議会では、被災された方々を支援するための義援金を次の通り受付しております。頂いた義援金は岩手県共同募金や日本赤十字社岩手県支部を通じて全額被災地の方々へ届けられます。皆さまのご協力をお願いいたします。



令和6年能登半島大雨災害義援金(石川県)
令和9年3月31日まで

その他、各種国内外義援金についても受付しております。一戸町社会福祉協議会 (TEL 0195-33-3385) までお問い合わせください。

編集後記

今回の表紙では、地域の冬を支える「奥中山スノーバスターズ」の取り組みをご紹介しました。厳しい寒さの中でも、地域のために力を合わせて活動する姿はとても頼もしく、またその思いは子どもたちにも確かに受け継がれているように感じます。雪と向き合う大変さの中にも、人と人とのつながりや温かさがあり、地域の力の大きさを改めて感じさせられました。これから少しずつ春へ向かう季節、地域の皆さんの活動がますます輝き、日々の暮らしに小さな喜びが増えていくことを願っています。(近藤)

表紙の紹介



奥中山中学校は、今年度もスノーバスターズとして、地域内の除雪に取り組みました。

作業の後には、松坂農園より奥いちきみの温かいコーンスープがふるまわれ、冷えた体にじんわりと沁みわたり、子どもたちの笑顔が広がりました。

地域の方を支え、また地域の方々に支えられる。そんな思いやりの輪が、今年も大きく広がっています。(p4参照)

社会福祉法人 一戸町社会福祉協議会

〒028-5312 一戸町一戸字砂森93-2
(一戸町総合保健福祉センター内)
TEL 0195-33-3385
FAX 0195-33-2737
ホームページ
[https:// ichinohe-shakyo.jp/](https://ichinohe-shakyo.jp/)





日本赤十字社 活動資金増強運動

令和7年度も例年と同様5月を全国一斉日本赤十字社活動資金増強運動月間とし、活動資金の募集活動が展開されました。

この活動資金は、全額が日本赤十字社本社へ送金され、各種活動（災害救護活動・ボランティア支援・赤十字講習会・国際救援活動等）に充当されています。二戸町分区分においても、小中学生が行う青少年赤十字活動への助成や献血活動の実施、災害時救護物資の備蓄等に役立てられています。



献血バスによる血液事業

総額 2,198,250 円 (前年度比 △124,850 円)

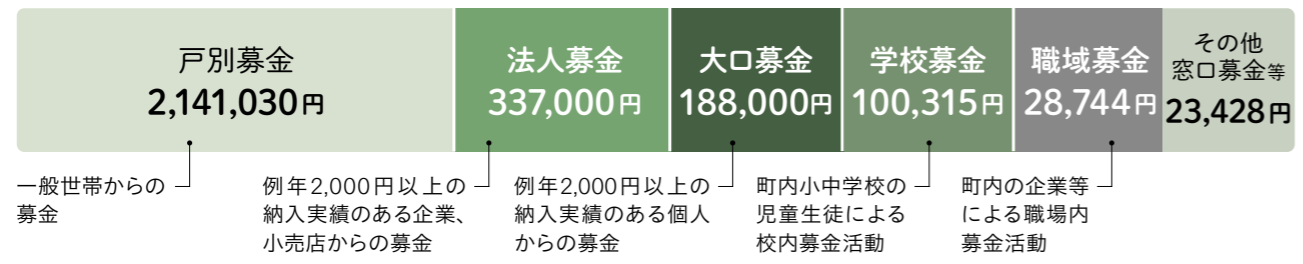


赤い羽根 共同募金運動

赤い羽根共同募金運動は、「自分の町を良くするしくみ」をスタートガンに、毎年10月に全国一斉にスタートする募金運動です。誰もが安心して暮らせる地域を作るため、乳幼児と子育て世代をサポートするチャイルドシート貸出事業や、地域住民同士の支え合いのためのボランティア活動保険助成事業等に活用されます。



総額 2,818,517 円 (前年度比 △2,383 円)



令和7年度 会費及び募金納入実績報告



一戸町社会福祉協議会 会費募集事業

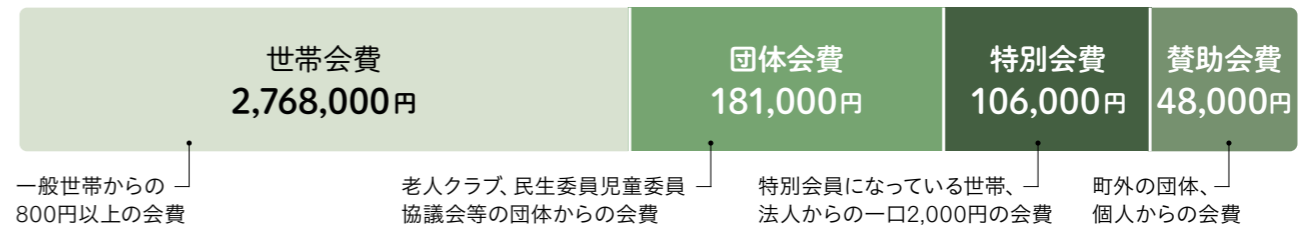
本会の会費募集は、例年8月頃に実施しております。今年度も町内外より、地域住民、法人、老人クラブ等の団体の皆さまのご協力をいただくことができました。

皆さまから納入いただいた会費は、本会の地域福祉事業（ふれあい・いきいきサロン助成事業、通院時外出支援サービス事業、長寿祝品贈呈事業、福祉教育の推進に関する事業等）の財源として活用させていただきます。



福祉教育の推進に関する事業

総額 3,103,000 円 (前年度比 △321,200 円)

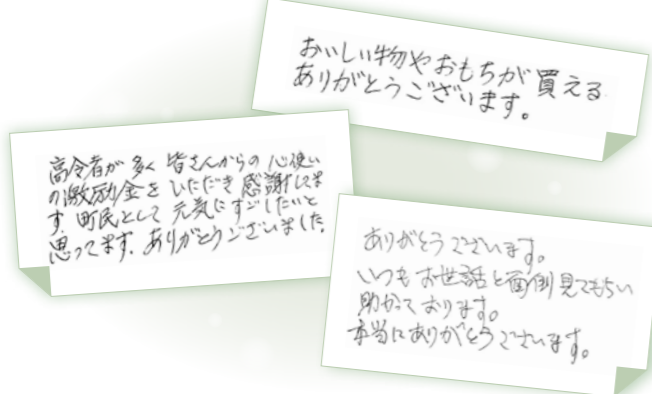


歳末たすけあい 募金運動

歳末たすけあい募金運動は、支援を必要とする方々が安心して新しい年を迎えられるよう、毎年12月に行われる募金運動です。

地域の皆さまから寄せられた義援金のほとんどが、新年をあたった気持ちで迎えるための費用として対象世帯へ配分されました。また義援金の一部は、次年度の地域福祉活動資金に役立てられます。

歳末たすけあい義援金を受け取った方から寄せられたメッセージ



配分金総額 2,651,198 円 (前年度比 △131,202 円)





さらなる健康長寿を願って
一戸町・町社協
100歳長寿祝記念品贈呈

澤内スミ様・中嶋ミヨ様・下斗米クニ様の3名は、今年度100歳の誕生日を迎えられ、ご家族や施設の皆さんにもご協力いただき、心温まるお祝いの会が開かれました。

これまで地域のために尽くしてこられた歩みに感謝し、これからもお元気で穏やかな日々を過ごされますようお願いいたします。



1 澤内スミ様(榑山)。2 中嶋ミヨ様(奥中山)。3 下斗米クニ様(一戸)。



屋根から落ちた手強い雪もみんなで協力して除雪。

除雪を通じて広がる交流の輪
奥中山中学校スノーバスターズ
大活躍

1月8日、奥中山中学校の1・2年生27名によるスノーバスターズが、地域内の高齢者宅11世帯の除雪活動を行いました。

今年は大雪により、地域の高齢者の方も除雪に苦労しており、スノーバスターズの活動を心待ちにされていました。除雪を通じて高齢者の方や地域の方と世代を超えた交流の機会となりました。

奥中山中学校をはじめ奥中山地域の皆さまのご協力、ありがとうございました。

泣いて笑って大きく育て
奥中山みどりの森こども園

2月3日、奥中山みどりの森こども園では節分行事を行いました。園内には元気な「鬼はそと! 福はうち!」の音が響き、子どもたちは豆まきや鬼とのふれあいを通して、無病息災を願いました。年齢ごとに工夫して制作した色とりどりの鬼のお面を被り、心の中の「泣き虫鬼」「怒りんぼ鬼」を追い出そうと、みんなで力いっぱい豆をまきました。

行事を通して季節の伝統に親しみ、友だちと協力する姿を育てていきたいと思えます。



園児たちは、力いっぱい豆をまき、鬼退治に挑みました。

いちのへ高齢者まつり開催

一戸町老人クラブ連合会(南館俊則会長)は2月21日、「いちのへ高齢者まつり」を、一戸町コミュニティセンターで開催しました。この取り組みは、昨年度まで実施していた「演芸交流大会」と「高齢者作品展示会」を合同で開催したものです。

当日は、高齢者施設の作品や竹細工、木工、編み物等多彩な作品が並び、一部の作品は販売も行われました。さらに、各団体による歌や踊り等の演芸が次々と披露され、会場は終始にぎやかな雰囲気になりました。

本会では福祉マルシェとして町内の障がい福祉事業所による作品や加工食品の販売も行い、来場者との交流が深まりました。



1 来場者で賑わう会場の様子。
2 演芸交流大会で練習の成果を披露。

受け継ぐふるさとの味
教わる郷土食づくり

奥中山学童クラブでは、1月6日(火)、一戸町食生活改善推進協議会と町栄養士の協力のもと、郷土食「ひつつみ」づくりを行いました。

子どもたちは、生地をこねてのぼし、ひつつみをちぎる一連の工程を体験し、日頃食べているひつつみがどのように作られているのかを改めて学ぶ機会となりました。地域に伝わる食文化に触れ、食への興味や感謝の気持ちが育つ貴重な時間となりました。仲間と協力して作り上げたひつつみは、子どもたちにとって特別なおいしさになりました。



生地に触れ、のぼし、ちぎる工程を通して、食への関心を深めました。

お願い 5月1日より日本赤十字社活動資金増強運動がスタートします

皆様からの募金は、自然災害等発生への災害救護支援活動を始め、様々な人道的活動の基盤整備のために大切に使わせていただきます。

4月末から5月にかけて、各地区行政連絡員または班長が各世帯を訪問しますのでご協力をお願いいたします。

運動期間 | 5月1日～5月31日

活動資金納入の目安 | 一般会員600円、特別会員2,000円、法人会員10,000円(あくまで目安です。)

問い合わせ先 | 日本赤十字社一戸町分区(一戸町社会福祉協議会内 TEL0195-33-3385)

ご案内 令和8年度 ふれあい・いきいきサロン助成事業 申請受付中

一戸町社会福祉協議会では、「ふれあい・いきいきサロン助成事業」の申請受付を行っています。

対象 | 町内で定期的に福祉活動を行う団体

申請方法 | 問い合わせ先に電話または来庁後、書類申請 ※令和7年度実施団体には書類郵送済

助成金額 | 一回一人当たり100円

※例：会員10名の団体が月1回(年間12回)活動した場合
年間助成額は、10名×12回×100円=12,000円となります。(上限なし)

問い合わせ先 | 一戸町社会福祉協議会(TEL0195-33-3385)

ご案内 令和8年度 一戸町地域保健福祉活動支援事業補助金の申請受付中

一戸町福祉課では、「地域保健福祉活動支援事業補助金」交付申請を受け付けています。

対象 | 町内で高齢者の介護予防に関する活動を行う団体

申請方法 | 問い合わせ先に電話または来庁後書類申請

助成金額 | 補助対象経費の10分の8以内で上限30,000円

問い合わせ先 | 一戸町福祉課、一戸町地域包括支援センター(TEL0195-32-3700)

ご案内 令和8年度 各種「社協の保険」の受付を開始しました

一戸町社会福祉協議会では、ボランティア活動やサロン活動、福祉サービス等の活動に対してのリスクに備えるための各種「社協の保険」の申し込み受付を開始しています。

保険の種類 | ボランティア活動保険、ふれあいサロン、社協行事傷害補償、福祉サービス総合補償 他

問い合わせ先 | 一戸町社会福祉協議会(TEL0195-33-3385)

募集 皆さんの声をお聞かせください

第4期締切 令和8年 4/31

本誌「いちのへ社協だよりゆいっこ」や本会Instagram(@ichiborapurasu)をご覧ください、ご感想やご意見をお送りください。ご応募いただいた方の中から抽選で3名の方に一戸町の特産品(1,000円相当)をプレゼントします。

応募を希望される方は、①住所②氏名③年齢④電話番号⑤本誌へのご感想やご意見を明記の上、はがきやFAXまたはメールにて編集係までお送りください。Instagramより応募される際は、いちボラ+(@ichiborapurasu)にコメントをお書きください。発表は、発送をもって代えさせていただきます。

応募方法

はがき | 〒028-5312
一戸町一戸字砂森93-2
一戸町社会福祉協議会
「広報ゆいっこ編集係」

FAX | 0195-33-2737

メール | | Instagram |



ichinohe-shakyo
@themis.ocn.ne.jp



@ichiborapurasu

「ひとりじゃない」…そう思える一戸町に
民生委員・児童委員の一斉改選

一戸町民生委員・児童委員一覧

色付きは新任 / ※は選任中の地区

任期 | 令和7年12月1日～令和10年11月30日

事務局 | 一戸町社会福祉協議会内(一戸町一戸字砂森93-2 / TEL 0195-33-3385)

担当地域	氏名	担当地域	氏名
越田橋	齊藤レイ	来田	瀧澤昌弘
八幡町	※	八木沢	田村夕工
下町	坂本光男	川原田平・悪戸平	柴田由美子
小井田	根反千鶴子	過利石・滝ノ沢・中野平	柴田正栄
横町・中町	藤原美佐子	沢田	大平四郎
上町・北館	齊藤吉夫	田中・子守・地切	穴久保孝雄
袋町1	※	中瀬・野崎・中村・野磯鶏	三合堂桂子
袋町2	袋館龍太郎	小姓堂・川又・野中	女ヶ澤富士雄
向町	田中庄造	穴久保・女ヶ沢	澤瀬義政
野田・野田坂	野坂小夜子	野里・中屋敷	家子美奈子
中道・永代町	小野寺正倫	仁昌寺	上里五月
中田	八森百合子	稲荷・中村・道地・駒木	中村ちや子
古館平	小井田敦子	高屋敷・若子内	高屋敷亮
樋ノ口・小滝	門馬久子	平糠1.2.3(落合)4.5	東野美恵子
西法寺	小田澤涼子	小繋	立花敦子
稲荷	坂ノ上富雄	田子	立花聡
駅前・諏訪野	松田真由美	火行・田中開拓	笹山勇
元諏訪野	小野寺美智子	姉帯1(侍村・野馬鹿・川久保)	小野寺彰
関屋1	畑中美枝子	姉帯2(門前・鬼淵・馬場)	中村奈緒子
関屋2・女鹿口	田村みえ子	姉帯3.4(下村・名子根・上里)	小野寺久人
女鹿・下女鹿	女鹿館千福	面岸・面岸開拓	田村晴彦
上女鹿	猪股正光	奥中山1	中嶋弘身
蛇ノ島・上小友・大谷地	本木伸行	奥中山2.3	照井あゆみ
小友1・2	東山明子	奥中山4	田子聖子
半在家・下小友	東山正志	摺糠・切掛・軽井沢	宮本隆広
袖子田・中里2	工藤ユキ	宇別	西館達雄
中里1・赤屋敷	館京子	旧中山・釜石	釜石文雄
泉田・月館稲荷・赤屋敷	清川セイ子	笹渡・二戸郷・家向	坂本正幸
大屋敷・上月館	柴田明美	日蓄・岳川・豊ヶ丘	松野あい子
岩清水・泉沢	泉久保義昭	上下田子・袖ヶ沢	漆原謙一
出ル町・与羽	向久保サナエ	一戸・鳥海・浪打	南館富子
平船・楢山	中村育子	小鳥谷	荒木眞智子
双畑	※	奥中山	久保みどり

11月30日の任期満了に伴い、民生委員の一斉改選が行われました。12月2日にはコミュニティセンターで辞令交付式が開催され、退任される方と新たに就任される方が顔を合わせました。

一戸町では今期、新任となる方が20名おり、これまでの活動が、新しい民生委員

へと引き継がれました。民生委員は行政や専門機関と連携しながら、地域住民の身近な相談役として担当地区ごとに活動しています。困ったときや災害時、また日常のさまざまな場面で、地域に寄り添う欠かせない存在です。3年間よろしくお願ひします。

いちボラレポート 2月 2026

2026年午年にちなんで…
馬のオーナメントづくりを開催!

2月16日のいちボラ+イベントでは、(株)柴田産業より岩手県産の杉を使用した馬のオブジェを提供していただき、参加者はそれぞれ自分だけのオーナメントづくりを楽しみました。個性豊かに彩られた馬のオーナメントが並ぶと、「まるでチャグチャグ馬コのように…」という声も聞かれ、会場には一足早い春の気配が漂いました。



アクセス 岩手県二戸郡一戸町西法寺字稲荷21-18(旧一戸幼稚園内)
Open 月・水・金曜日 10:00～16:00 Close 火・木・土・日曜日(祝日・年末年始)

問い合わせ先 一戸町社会福祉協議会 TEL 0195-33-3385